

令和7年度「えひめ子どもスポーツITスタジアム」実施要項

愛媛県教育委員会

1 目的

ホームページを通じて楽しく競い合えるIT環境をつくることにより、幼児・児童の運動に対する興味関心を高め、楽しみながら継続的に運動に取り組ませ、体力の向上とスポーツへの参加意識の高揚を図るとともに、幼児・児童の体力向上に対する県民の意識の高揚を図ることを目的とする。

2 記録の登録期間

(1) チャレンジ部門

令和7年10月1日（水）から令和8年1月16日（金）17:00まで

(2) ポイント獲得部門

【エンジョイスports】

令和7年10月1日（水）から令和8年1月16日（金）17:00まで

【幼児プログラム】

令和7年10月1日（水）から令和8年1月16日（金）17:00まで

※登録期間に限らず、熱中症対策を適切に講じながら、各校の実情に合わせた事前練習や体力向上に向けた継続的な取組をご検討ください。

3 対象

県内の保育所・幼稚園児、小学生

4 ホームページURL

<https://its-ehime.esnet.ed.jp>

5 部門及び種目

(1) チャレンジ部門

種 目	内 容
スローアンドキャッチラリー	3分間、1つのボールを使ってキャッチボールを行い、何回捕球できたかを競う。
長なわ跳び	連続回旋跳びで、なわを何回跳べたかを競う。
8の字ジャンプ	8の字跳びを行い、なわを合計何回跳べたかを競う。 1・2年生 : 3分間 3・4年生 : 4分間 5・6年生 : 5分間 特別支援学級等 : 4分間
チームリレー	1人が半周（約50m）を走るリレーで、1人あたりの平均タイムを競う。

※記録は、原則実施日もしくは実施日の翌日までに登録する。

※入力の際は、特に「長なわ跳び」と「8の字ジャンプ」の入力間違いがないよう再度確認する。

(2) ポイント獲得部門

【エンジョイスポーツ（小学生対象）】

種 目	内 容
<u>みんなで鉄棒</u>	鉄棒を行う。
<u>みんなでダンス</u>	音楽に合わせて、5分程度、リズムダンスや動きづくり、ストレッチ体操等を行う。既存のダンス等可。
<u>みんなで鬼遊び</u>	鬼遊びを行う。
<u>みんなで屋内遊び</u>	屋内遊びを行う。
<u>みんなでドッジボール</u>	ドッジボールを行う。
<u>みんなでランニング</u>	トラックやコース等を走る。
<u>みんなでアスレチック</u>	校庭等に設置されている遊具を使って活動する。
<u>みんなでトレーニング</u>	愛媛県教育委員会保健体育課配布のリーフレットを参考にトレーニングを行う。

※同じ時間帯（休み時間や昼休み、放課後等）に、学級等（学年・学校・縦割りのグループなど可）の単位で行うことにより、ポイントを獲得し、累計していく。

※実施時間は、3分～5分程度を目安とするが、児童の実態や活動の目的に応じ、健康管理に努めた上で、時間を増加させることは差し支えない。

※同じ時間帯における1回の実施（機会）で、1ポイント獲得。

全員で同じ種目に取り組むか、いくつかのグループ等に分かれて別々の種目に取り組むかは、自由。ただし、同じ時間帯でどのような活動を行った場合でも、1回の実施（機会）として1ポイントの獲得とする。1日に複数回の実施（機会）を設定（例えば、2時間目の休み時間と昼休み 等）してもよい。

※「エンジョイスポーツ」に取り組むことを全体に周知するなど、実施確認やポイント入力等は、学級担任等の教員が責任をもって行う。

※参加した学級（学年・学校・縦割りのグループなど）に認定証を発行する。

※随時（登録期間内）、ポイントを入力・更新していく。令和8年1月16日（金）の登録締切後、認定証交付申請書を、令和8年1月23日（金）までに愛媛県教育委員会保健体育課へ送付する。

※リーフレットとは、平成30年4月に配布した「柔軟性チェック」と「体育の中でコーディネーショントレーニング」を指す。

【幼児プログラム（幼児対象）】

おともだちづくり	リズムあそび
おやこあそび	みずあそび
ボールあそび1	ゆうぐあそび
なわあそび	ボールあそび2
マットあそび	いろいろなあそび

※クラス等単位で行うこととし、ポイントを獲得し、累計していく。

※1つの種目を行ったら、1ポイント獲得する。1日に複数の種目を行ってもよい。

※参加したクラス等に参加証を発行する。（表彰の対象にはならない。）

※随時、ポイントを入力・更新していく。令和8年1月16日（金）の登録締切後、参加証交付申請書を、令和8年1月23日（金）までに愛媛県教育委員会保健体育課へ送付する。

6 種目の説明

(1) チャレンジ部門

① スローアンドキャッチラリー

3 分間、1 つのボールを使ってキャッチボールを行い、何回捕球できたかを競う。

ア 準備

- ・ ドッジボール（合成ゴム製）を使用するが、ボールの号球は自由とする。
- ・ 平面上に、投球ラインを示す 2 本の直線を引く。

1・2 年生 : 5 m 間隔

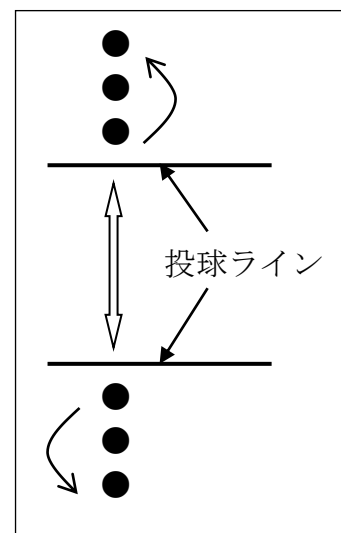
3・4 年生 : 7 m 間隔

5・6 年生 : 9 m 間隔

特別支援学級等 : 5 m 間隔

イ 方法

- ・ 各グループがほぼ半数となるように 2 つに分かれ、投球ライン後方に縦 1 列で向かい合って並ぶ。
- ・ 計時の「はじめ」の合図で始め、3 分間経った時点で計時が「おわり」の合図をする。「おわり」の合図をした時点で、捕球した回数を記録とする。
- ・ ファンブル後ボールを保持した場合も捕球とする。ただし、ファンブルした場合は、その人だけが行き、ラインまで戻って続ける。
- ・ 投球ライン内での捕球及び投球はしてはならない。ただし、ファンブルしたボールが投球ライン内に入った場合は、中に入ってボールを取りに行ってもよい。また、投球ラインを踏んだり、投球ラインの中に入ったりしてボールを投げた場合は、相手が捕球しても捕球回数には入れない。
- ・ 投球はノーバウンドで相手に届くように投げる事が望ましいが、バウンドしても、投球ライン後方でボールを捕球すれば捕球回数に入れることができる。
- ・ 投球フォーム、助走及びステップの距離は自由とする。
- ・ 投球後は、投球ラインの前方に入ってもよい。
- ・ 投球後は、同じ列の後ろに並ぶ。
- ・ キャッチボールをする 2 人以外は、ボールに触れてはいけない。



ウ グループ編成

- ・ 通常学級は、学級全員をほぼ半数の 2 つのグループに分ける。
- ・ 12 人未満の通常学級は、1 つのグループで行う。
- ・ 6 人未満の学級は、異学年の児童（学級または学年全員）を加えて 1 つのグループで行う。この場合の記録は、構成人数の最も多い学年に登録する。（異学年同士が同数の場合は、上の学年で登録する。）異学年でグループを構成する場合、学級または学年を解体してはならない。

- ・特別支援学級等は、学級全員または特別支援学級等に在籍する児童で1つのグループとして実施する。在籍数が1人の場合は、同学年の通常学級児童を1人加え、2人で行う。

エ 記録と参加人数

- ・2つのグループが捕球できた回数を合計し、その学級の記録とする。
- ・2つのグループの実施日は同日でなければならない。
- ・1グループで実施した場合は、記録を2倍した回数を登録する。
- ・特別支援学級等の記録は、1つのグループの回数とする。
- ・通常学級の参加人数は、2つのグループの参加児童数の合計とする。ただし、12人未満の通常学級は、1つのグループの参加児童数とする。

オ 実施上の注意事項

- ・実施場所は運動場または体育館とする。
- ・記録挑戦の際は、可能な限り複数の教員立会いのもと実施し、計時・審判は教員が行う。
- ・特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。
- ・暑熱時期を避けるなど、期間を考慮したり、計画的に行ったりすることで、年間を通じて、運動に親しむ機会の確保や体力の向上に活用することが望ましい。

② 長なわ跳び

連続回旋跳びで、なわを何回跳べたかを競う。

ア 準備

- ・長なわ、またはなわ跳び用グリップ付き長なわ

イ 方法

- ・跳ぶ児童の並び方は自由とする。
- ・なわを回し、全員が跳ぶことができたなら1回とし、連続して跳ぶことができた回数を記録とする。
- ・10人以上のグループ内で少なくとも8人（児童）がなわを跳び、2人（児童）までなわを回すことができる。また、グループ全員（10人以上の児童）で跳んで、教員や保護者がなわを回してもよい。

ウ グループ編成

- ・学級全員を10人以上のグループに分ける。
(選抜メンバーでの登録はできない。)
- ・複数のグループで行う場合、同一児童が別のグループに参加することはできない。
- ・9人以下の学級は、異学年の児童（学級または学年全員）を加え、10人以上にして行う。この場合の記録は、構成人数の最も多い学年に登録する。（異学年同

士が同数の場合は、上の学年で登録する。) 異学年でグループを構成する場合、学級または学年を解体してはならない。

- ・特別支援学級等については、3人以上がなわを跳ぶグループを編成する。なわを跳ぶ児童が3人に満たない場合は、特別支援学級等に在籍する児童と同学年の通常学級児童を加え3人以上で行う。

エ 記録と参加人数

- ・学級で10人以上のグループを複数つくって行った場合は、各グループの跳んだ回数の合計をグループ数で割り、その平均回数を学級の記録とする。平均回数が小数となった場合は、小数第1位を切り捨て、整数とする。
- ・学級全員により、1つのグループで実施した場合は、そのグループが跳んだ回数を学級の記録とする。
- ・特別支援学級等は、3人以上のグループを複数つくって行った場合は、グループの中で最も多い回数を記録とする。参加人数は、そのグループの人数とする。
- ・複数のグループで実施した場合、実施日はすべて同日でなければならない。
- ・通常学級の参加人数は、各グループのなわを跳んだ児童数の合計とする。ただし、児童がなわを回した場合は、なわを跳んだ児童数となわを回した児童数の合計とする。教員、保護者等の数は含めない。

オ 実施上の注意事項

- ・実施場所は運動場または体育館とする。
- ・使用するなわの長さや種類は自由とする。
- ・なわを回す人は、児童、教職員または保護者とし、手袋等を着用してもよい。
- ・記録挑戦の際は、可能な限り複数の教員立会いのもと実施し、計時・記録は教員が行う。
- ・特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。
- ・暑熱時期を避けるなど、期間を考慮したり、計画的に行ったりすることで、年間を通じて、運動に親しむ機会の確保や体力の向上に活用することが望ましい。

③ 8の字ジャンプ

8の字跳びを行い、規定時間内になわを合計何回跳ぶことができたかを競う。

ア 準備

- ・長なわ、またはなわ跳び用グリップつき長なわ
- ・ストップウォッチ

イ 方法

- ・「はじめ」の合図までは、跳ぶ児童はなわの外に出ておく。
- ・計時の「はじめ」の合図なわを回し始める。1人が入って1回跳んで出る。次の人が入って1回跳んで出るという跳び方で順々に入って跳んで出ていくという運動を行う。タイミングが合わず、空回旋になってもかまわない。

- ・なわにかかって失敗した場合、跳び直しをせず次の児童から跳び続ける。
- ・終了した時点で計時の「終わり」の合図をする。規定時間以内であれば、途中で失敗した場合、すぐになわをまわし始め、次の児童が入って跳ぶ。跳んだ回数を加算していく。
- ・跳ぶ児童の並び方は自由とするが、途中で順番を変えてはいけない。また、全員が一通り跳び終えたら、2 順目は、逆の場所からなわに入り、全員の移動が回転するなわを中心に 8 の字になるように動く。
- ・教員や保護者等がなわを回しても良い。

- ・規定時間は、次のとおりとする。

1・2 年生 : 3 分間

3・4 年生 : 4 分間

5・6 年生 : 5 分間

特別支援学級等 : 4 分間

ウ グループ編成

- ・人数の制限はなく、学級等全員で行う。
- ・複数の学年で行った場合は、構成人数の最も多い学年に登録する。(異学年同士が同数の場合は、上の学年で登録する。)

エ 記録と参加人数

- ・「1、2、3」と跳んでいて、「3」で失敗した場合は、次は「3、4、5・・・」と数え始め、失敗したときの回数を含めない。
- ・なわ 1 回旋に対して、児童が 1 回なわを跳んだ場合 1 回と数え加算していく。
- ・通常学級の参加人数は、児童がなわを回した場合は、なわを跳んだ児童数と、なわを回した児童数の合計とする。教員、保護者等の人数は含めない。

オ 実施上の注意事項

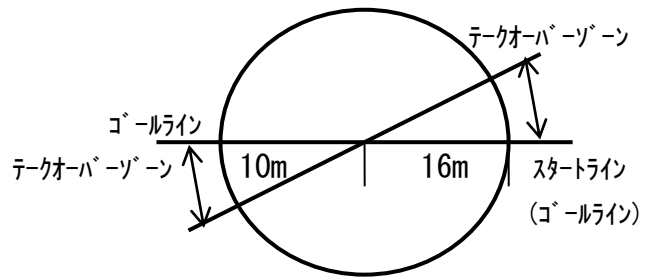
- ・実施場所は運動場または体育館とする。
- ・使用するなわの長さや種類は自由とする。
- ・なわを回す人は、児童、教職員または保護者とし、手袋等を着用しても良い。
- ・記録挑戦の際は、可能な限り複数の教員立会いのもと実施し、記録・計時とも教員が行う。
- ・特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。
- ・暑熱時期を避けるなど、期間を考慮したり、計画的に行ったりすることで、年間を通じて、運動に親しむ機会の確保や体力の向上に活用することが望ましい。

④ チームリレー

1 人が半周 (約 50m) を走るリレーで、1 人あたりの平均タイムを競う。

ア 準備

- ・ バトン
- ・ 平坦な地面上に半径 16m の円
(円周約 100.5m)、
スタートライン、ゴールライン
及びテークオーバーゾーンを
設定する直線を引く。



- ・ 運動場の形によって円が設営できない場合は、1 周 100m のトラックを利用してもよい。その場合、テークオーバーゾーンは直線上とする。

イ 方法

- ・ 走る順番は自由とする。
- ・ スタートの方法は、スタンディングスタートとする。
- ・ 計時のスタートの合図から、最終走者のトルソー（胴体の一部）がゴールライン上に到着するまでにかかった時間を計測する。
- ・ バトンの引き継ぎは、テークオーバーゾーン（円周上の距離で 10m）で行う。それ以外でバトンの引き継ぎを行われた場合は、やり直しとする。

ウ グループ編成

- ・ 学級全員が参加し、4 人以上のチームでリレーを行う。複数のチームができた場合、同一児童が別のチームで参加することはできない。
- ・ 4 人未満の学級は、異学年の児童（学級または学年全員）を加えて行う。この場合の記録は、構成人数の最も多い学年に登録する。（異学年同士が同数の場合は、上の学年で登録する。）異学年でグループを構成する場合、学級または学年を解体してはならない。
- ・ 特別支援学級等は、学級全員または特別支援学級等に在籍する児童で 1 つのグループとして実施する。在籍数が 1 人の場合は、特別支援学級等に在籍する児童と同学年の通常学級児童を加えて 4 人で行う。

エ 記録と参加人数

- ・ タイム測定は、10 分の 1 秒までとする。
- ・ 1 人あたりの平均タイムを算出する際には、100 分の 1 秒を切り上げ、10 分の 1 秒までとする。
- ・ 複数のチームができた場合、各チームのタイムを合計し、参加人数で割って、一人当たりの平均タイムを登録する。
- ・ 参加人数は、走った人数とする。

オ 実施上の注意事項

- ・ 実施場所は運動場等とする。
- ・ バトンは、原則としてプラスチック製のバトンを使用する。
- ・ 記録挑戦の際は、可能な限り複数の教員立会いのもと実施し、計時・審判は教員が行う。
- ・ 特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

- ・暑熱時期を避けるなど、期間を考慮したり、計画的に行ったりすることで、年間を通じて、運動に親しむ機会の確保や体力の向上に活用することが望ましい。

※ 特別支援学級等のチャレンジ部門における留意点（再掲）

① スローアンドキャッチラリー

- ・グループ編成は、学級全員または特別支援学級等に在籍する児童で1つのグループとして実施する。在籍数が1人の場合は、同学年の通常学級児童を1人加え、2人で行う。
- ・記録は、1つのグループの回数とする。
- ・児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

② 長なわ跳び

- ・グループ編成は、3人以上がなわを跳ぶグループを編成する。なわを跳ぶ児童が3人に満たない場合は、特別支援学級等に在籍する児童と同学年の通常学級児童を加え3人以上で行う。
- ・3人以上のグループを複数つくって行った場合は、グループの中で最も多い回数を記録とする。参加人数は、そのグループの人数とする。
- ・児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

③ 8の字ジャンプ

- ・人数の制限はなく、学級等全員で行う。
- ・児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。
- ・規定時間：4分間

④ チームリレー

- ・グループ編成は、学級全員または特別支援学級等に在籍する児童で1つのグループとして実施する。在籍数が1人の場合は、特別支援学級等に在籍する児童と同学年の通常学級児童を加えて4人で行う。
- ・児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

(2) ポイント獲得部門 【エンジョイスports】

8種目の運動を学級（学年・学校・縦割りグループなど）単位等で行うことでポイントを獲得していく。

実施方法

- ・同じ時間帯（休み時間や昼休み、放課後等）に、学級等（学年・学校・縦割りのグループなど可）の単位で行う。

- ・実施時間は、3分～5分程度を目安とする（手軽に負担なく実施できる時間）が、児童の実態や活動の目的に応じ、健康管理に努めた上で、時間を増加させることは差し支えない。
- ・同じ時間帯における1回の実施（機会）で、1ポイント獲得。
全員で同じ種目に取り組むか、いくつかのグループ等に分かれて別々の種目に取り組むかは、自由。ただし、同じ時間帯でどのような活動を行った場合でも、1回の実施（機会）として1ポイントの獲得とする。1日に複数回の実施（機会）を設定（例えば、2時間目の休み時間と昼休み 等）してもよい。
- ・「エンジョイスポーツ」に取り組むことを全体に周知するなど、実施確認やポイント入力等は、学級担任等の教員が責任をもって行う。
- ・暑熱時期を避けるなど、期間を考慮したり、計画的に行ったりすることで、年間を通じて、運動に親しむ機会の確保や体力の向上に活用することが望ましい。
- ・複数の学年で行った場合は、構成人数の最も多い学年に登録する。（異学年同士が同数の場合は、上の学年で登録する。）

種 目 ※学校、学級の実態に応じてルールや行い方を工夫してもよい。

- ① **みんなで鉄棒**
 - ・いろいろな鉄棒を行う。
 - ② **みんなでダンス**
 - ・音楽に合わせて、5分程度、各学級（学年・学校・縦割りグループなど）でリズムダンスや動きづくり、ストレッチ体操等を行う。既存のダンス等可。
 - ③ **みんなで鬼遊び**
 - ・鬼遊び（警ドロ・色鬼・鬼ごっこ等）を行う。
 - ④ **みんなで屋内遊び**
 - ・屋内遊び（ハンカチ落とし・フリースロー等）を行う。
 - ⑤ **みんなでドッジボール**
 - ・ドッジボールを行う。
 - ⑥ **みんなでランニング**
 - ・走るコースは、各学校の実情に応じて設定する。
 - ⑦ **みんなでアスレチック**
 - ・校庭などに設置されている遊具を使って活動する。
 - ⑧ **みんなでトレーニング**
 - ・愛媛県教育委員会保健体育課配布のリーフレットを参考に「柔軟性チェック」と「体育の中でコーディネーショントレーニング」のトレーニングを行う。
- （③～⑧については、低学年は3分間、中学年は4分間、高学年は5分間行う。
計時は、教員が行う。）

※特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わり、補助具を活用しても良い。

7 実施上の留意点

（1）全般的な留意点

練習や記録挑戦にあたっては、休み時間や業間、放課後等に、教員の指導のもと、

児童が主体的に活動できるように配慮すること。また、児童の健康観察、施設及び用具の点検等、安全に十分留意して実施すること。

暑熱時期を避けるなど、期間を考慮したり、計画的に行ったりすることで、年間を通じて、運動に親しむ機会の確保や体力の向上に活用することが望ましい。

(2) チャレンジ部門の記録の登録及び更新について

記録の登録及び更新については、「二次元コード」から記録を入力する。

① 記録の更新

随時更新することができる。

② 記録の登録及び記録の更新の締切

令和8年1月16日（金）17:00

③ 月間賞について

チャレンジ部門の各種目の上位3位以内の参加団体（各学年）に月間賞を授与する。対象期間は、10月～1月とする。

各月末にホームページに更新された最終データから各種目・各学年ごとに上位3位以内の参加団体を確認し、該当学校は、ホームページから月間賞の様式をダウンロードし、各学校において表彰するなどして活用ください。

(3) ポイント獲得部門の登録及び更新について

記録の登録及び更新については、「二次元コード」から記録を入力する。

登録終了後、認定証交付申請書（小学生）・参加証交付申請書（幼児）を愛媛県教育委員会保健体育課へ送付する。

① 提出先

愛媛県教育委員会保健体育課教育指導グループ

〒790-8570

松山市一番町4丁目4-2

② 認定証・参加証交付

参加した全ての学級（学年及び学校）に、認定証・参加証を交付する。ただし、1年間の累計ポイントを示した認定証交付申請書・参加証交付申請書を提出しなければならない。

認定証交付申請書・参加証交付申請書を確認後、認定証・参加証を送付する。

③ 記録の登録及び記録の更新の締切

令和8年1月16日（金）

④ 認定証交付申請書提出締切

令和8年1月23日（金）17:00

8 審査

(1) チャレンジ部門

- ・通常学級は、種目及び学年ごとに、記録が高い順に順位を付ける。
- ・特別支援学級等は、学年別にはせず、種目ごとに記録の高い順に順位を付ける。
- ・同記録の学級が2つ以上ある場合は全て同順位とする。ただし、1位については、その部門の参加日数が多い学級を1位とする。

(2) ポイント獲得部門【エンジョイスportsのみ】

- ・通常学級は、学年ごとに、ポイントが高い順に順位を付ける。
- ・特別支援学級等は、学年別にはせず、ポイントが高い順に順位を付ける。
- ・縦割りのグループは、最高学年での対象として順位を付ける。
- ・同記録の学級が2つ以上ある場合は全て同順位とする。ただし、1位については、記録登録の参加日数が多い学級を1位とする。

9 表彰

(1) チャレンジ部門

① スローアンドキャッチラリー

- ・各学年1位 賞状、トロフィー（1年生から6年生 計6学級）
- ・各学年2位から10位 賞状（1年生から6年生 計54学級）
- ・特別支援学級等1位 賞状、トロフィー（1学級）
- ・特別支援学級等2位から10位 賞状（9学級）

※ 各学年・特別支援学級等の1位の決定方法については、記録登録の参加日数が多い学級を1位とする。

② 長なわ跳び

- ・各学年1位 賞状、トロフィー（1年生から6年生 計6学級）
- ・各学年2位から10位 賞状（1年生から6年生 計54学級）
- ・特別支援学級等1位 賞状、トロフィー（1学級）
- ・特別支援学級等2位から10位 賞状（9学級）

※ 各学年・特別支援学級等の1位の決定方法については、記録登録の参加日数が多い学級を1位とする。

③ 8の字ジャンプ

- ・各学年1位 賞状、トロフィー（1年生から6年生 計6学級）
- ・各学年2位から10位 賞状（1年生から6年生 計54学級）
- ・特別支援学級等1位 賞状、トロフィー（1学級）
- ・特別支援学級等2位から10位 賞状（9学級）

※ 各学年・特別支援学級等の1位の決定方法については、記録登録の参加日数が多い学級を1位とする。

④ チームリレー

- ・各学年1位 賞状、トロフィー（1年生から6年生 計6学級）

- ・各学年 2 位から 10 位 賞状（1 年生から 6 年生 計 54 学級）
 - ・特別支援学級等 1 位 賞状、トロフィー（1 学級）
 - ・特別支援学級等 2 位から 10 位 賞状（9 学級）
- ※ 各学年・特別支援学級等の 1 位の決定方法については、記録登録の参加日数が多い学級を 1 位とする。

（2）ポイント獲得部門

【エンジョイスports】

- ・各学年 1 位 賞状、トロフィー（1 年生から 6 年生 計 6 学級）
 - ・各学年 2 位から 10 位 賞状（1 年生から 6 年生 計 54 学級）
 - ・特別支援学級等 1 位 賞状、トロフィー（1 学級）
 - ・特別支援学級等 2 位から 10 位 賞状（9 学級）
- ※ 各学年・特別支援学級等の 1 位の決定方法については、記録登録の参加日数が多い学級を 1 位とする。

【幼児プログラム】

表彰の対象としないが「参加証」あり。 ※申請書の提出必要

（3）表彰式

- ① 日 時 令和 8 年 2 月 23 日（月） 13 時 30 分～
- ② 場 所 愛媛県武道館
- ③ 対 象 <チャレンジ部門>
通常学級各種目
特別支援学級等各種目
<ポイント獲得部門>
通常学級各学年
特別支援学級等

④ 参加者

<チャレンジ部門・ポイント獲得部門>
学級担任及び代表児童（代表児童は、学校の希望により複数名参加可）

（4）その他

表彰式に参加できない表彰対象校は、市町教育委員会を通じて各学校に賞状等を送付する。

10 記録等の公開

「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」ホームページ上で月 1 回公開する。

※ホームページURL

<https://its-ehime.esnet.ed.jp>

11 問い合わせ先

「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」に関するお問い合わせは、次のところをお願いします。

愛媛県教育委員会 保健体育課 教育指導グループ

T E L 089-912-2981

F A X 089-912-2979

E-mail hokentaiiku@pref.ehime.lg.jp